

4	5	6	7
○	○	○	○
①都道府県	①都道府県	①都道府県	①都道府県
○	○	×	
0	1年4ヶ月	3	
②1~2日	①0~1日	①0~1日	
①0~1日	①0~1日	①0~1日	
②1~2日	②1~2日	①0~1日	
①0~1日	④3~4日	①0~1日	
②1~2日	①0~1日	④3~4日	
10	0	1	
0	11	19	
×	×	×	
-			

■へき地診療所病院、へき地診療所についての集計は別紙

		1	2	3
2. 第11次へき地保健医療計画の進捗状況				
■ドクタープール				
(23)	ドクタープールのシステム作り	○	×	×
(24)	ドクタープールの新規登録者	18		
(25)	ドクタープールの登録者	16		
(26)	へき地医療に関わっている医師	5		
■へき地医療への動機づけ				
(27)	へき地医療に関連した寄附講座	○	×	×
(28)	中学生・高校生を対象とした啓発活動	9	3	0
(29)	中学生・高校生を対象とした啓発活動の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療を担う青少年育成事業(H24事業開始) ・地域医療を支える人づくりプロジェクト事業(○教委所管) ①地域医療体験事業 ②メディカルキャンプセミナー 	「外科手術体験セミナー(○○大学外科主催との共催)、医療チュードリアル体験、ドクタートーク」等の開催及び、県の広報媒体(テレビ番組での取り上げ等)を介しての周知	-
(30)	大学におけるへき地保健医療に関する医学教育	○	○	○
(31)	大学においてへき地保健医療に関する教育が行われている学年			
	① 第1学年	○	×	○
	② 第2学年	○	○	×
	③ 第3学年	○	×	○
	④ 第4学年	○	○	×
	⑤ 第5学年	×	×	×
	⑥ 第6学年	×	○	○
(32)	へき地医療の現場を経験できるカリキュラム	○	○	○
(33)	へき地医療の現場を経験できるカリキュラムのある学年			
	① 第1学年	○	×	○
	② 第2学年	×	×	×
	③ 第3学年	○	×	○
	④ 第4学年	×	×	×
	⑤ 第5学年	×	×	×
	⑥ 第6学年	×	○	○
(34)	自治医科大学学生とのコミュニケーション	○	○	×
(35)	地域 枠学生・奨学生とのコミュニケーション	○	○	×
(36)	自治医科大学学生と地域 枠学生・奨学生とのコミュニケーション	×	×	○

4	5	6	7
○	×	×	×
2			
15			
1			
○	×	○	×
1	6	0	5
医師を志す高校生支援事業	総合地域医療推進学講座の教員が、県内の高校を訪問のうえ、生徒やその保護者を対象に、〇〇県の医療事情を詳しく説明するとともに、医師という職業の魅力を伝えている。		高校生を対象に実施した医師志望者のための支援制度等説明会において、県のへき地医療の現状についての説明や、へき地医療従事者からの講話をおこなった。
○	○	○	○
×	○		×
×	×		×
×	○		×
×	×	○	○
○	×		×
○	×		×
×	○	○	○
×	○		×
×	×	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	×	×	○

	1	2	3
--	---	---	---

■へき地医療従事者に対する研修計画・プログラムの作成

(37)	へき地医療を担う総合医の育成を目的とした後期臨床研修プログラム	○	○	
(38)	へき地医療を担う総合医の育成を目的とした後期臨床研修プログラムの具体的内容	別添「○○後期臨床研修ガイドブック」参照	<p>研修機関 ○○県立中央病院、県内自治体病院および診療所</p> <p>研修期間 3年間</p> <p>研修終了後の受験資格 認定内科医 総合内科専門医 日本病院総合診療医学会認定医 上記の他、家庭医認定プログラムを申請予定です</p> <p>プログラムの特色 総合診療部としての横断的活動、外来、入院診療の他、県内自治体病院との連携を生かした地域実習が可能です。さらに救急部と共に活動しておりERに関する研修が充実しています。救急外科の研修も可能です。</p> <p>プログラム内容 総合診療コース、地域家庭医コースを選択。基本的研修内容は下記の通りです。 総合診療コース 1年目 内科および外科ローテート 2年目 内科ローテート、総合診療部 3年目 総合診療部</p> <p>地域家庭医コース 1年目 総合診療部および救急部研修、各科ローテート 2年目 総合診療部研修 3年目 地域研修</p>	[参考] 総合医の育成を目的として、一部の募集医療機関を中心として「病院型総合医育成プログラム」や「地域包括型総合医育成プログラム」が作成されているが、必ずしもへき地医療だけに特化しているものではない。
(39)	へき地医療を担う総合医の育成を目的とした後期臨床研修プログラムの運用状況	22		

■へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン

(40)	へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン	×	×	○
(41)	へき地医療に従事する医師のキャリアデザインの具体的内容			自治医科大学卒業医師における義務履行期間中の配置方針により実施している。
(42)	へき地医療に従事する医師のキャリアデザインの運用状況			

4	5	6	7
×	○	×	×
-	日本プライマリ・ケア連合学会認定プログラム		
-	2		

○	×	×	×
へき地医療に従事する医師の希望する専門性を高める研修等（検討段階）			
-			

	1	2	3
--	---	---	---

3. へき地歯科医療について

(43)	へき地歯科診療所について	26	2	9
(44)	第10次へき地保健医療計画におけるへき地歯科医療	○	×	×
(45)	歯科医師会との協議	×	×	×
(46)	へき地歯科医療の実態調査	×	×	×
(47)	へき地における小児の口腔状況について	×	×	×
(48)	へき地における高齢者の口腔問題	×	×	×
(49)	へき地における歯科検診	×	×	×
(50)	歯科医師会との協働による実態調査		×	×
(51)	第11次へき地保健医療計画における歯科医療対策	○	×	×
(52)	第11次へき地保健医療計画策定後の進展について			
	① へき地歯科医療に関する歯科医師会との協議	×	×	×
	② へき地歯科診療に対する予算的補助	○	×	○
	③ へき地歯科医療に関するへき地を有する市町村との協議	×	×	×
	④ へき地における住民の歯科健康診査事業の推進	×	×	×
	⑤ へき地医療拠点病院やへき地診療所における新たな歯科の開設	×	×	×
(53)	歯科口腔保健推進条例について	○	×	×
(54)	都道府県職員としての歯科医師	②常勤のみ採用されている	②常勤のみ採用されている	②常勤のみ採用されている
(55)	都道府県職員としての歯科医師の勤務施設			
	① 都道府県立病院	×	○	○
	② 診療所	×	×	×
	③ 保健所	○	○	○
	④ その他	○	×	○
(56)	都道府県職員としての歯科衛生士	②常勤のみ採用されている	④歯科衛生士は採用されていない	②常勤のみ採用されている
(57)	都道府県職員としての歯科衛生士の勤務施設			
	① 都道府県立病院	×		○
	② 診療所	×		×
	③ 保健所	○		×
	④ その他	○		×

4	5	6	7
2	1	2	0
×	×	○	×
×	×	○	×
×	×	×	×
×	×	×	×
×	×	×	×
○	×	×	×
×			
×	○	○	×
×	×	○	×
×	×	×	×
×	×	×	×
×	×	○	×
○	×	×	×
○	×	×	○
②常勤のみ採用されている	②常勤のみ採用されている	②常勤のみ採用されている	②常勤のみ採用されている
×	×	×	○
×	×	×	×
○	×	○	×
×	○	○	×
④歯科衛生士は採用されていない	③非常勤のみ採用されている	④歯科衛生士は採用されていない	②常勤のみ採用されている
×	×		○
×	×		×
×	×		×
×	○		×

	1	2	3
--	---	---	---

4. へき地看護について

(58)	へき地診療所に対する看護師派遣	×	×	×
(59)	看護師派遣の具体的内容			
(60)	看護師・助産師・保健師養成所(看護系大学含む)との連携	×	×	×
(61)	看護師・助産師・保健師養成所(看護系大学含む)との連携の具体的内容		×	
(62)	都道府県看護協会との連携	×	×	×
(63)	都道府県看護協会との連携の具体的内容			
(64)	へき地診療所やへき地医療拠点病院の看護職に対する研修支援	○	○	×
(65)	へき地診療所やへき地医療拠点病院の看護職に特化した研修支援	×	×	×
(66)	へき地診療所やへき地医療拠点病院の看護職に特化した研修支援の内容			
(67)	へき地診療所看護職およびへき地医療拠点病院看護職の現状調査	×	×	×
(68)	へき地診療所看護職およびへき地医療拠点病院看護職に特化した現状調査	×	×	×
(69)	へき地診療所およびへき地医療拠点病院看護職に特化した分析	×	×	×

4	5	6	7
x	x	x	x
-			/
x	x	x	x
-			/
x	x	x	x
-			/
x	O	x	x
x	x	x	/
-			/
x	x	x	x
x			/
x		x	/

		1	2	3
5. へき地保健医療対策に関する協議会の設置と活動状況				
(70)	へき地保健医療対策に関する協議会の参加者構成			
	① 都道府県医師会関係者	○	○	○
	② 都市医師会関係者	×	×	×
	③ 地元大学関係者	○	×	○
	④ へき地医療拠点病院関係者	○	○	○
	⑤ へき地診療所関係者	×	○	×
	⑥ 看護協会関係者	○	×	×
	⑦ 歯科医師会関係者	○	×	×
	⑧ 薬剤師会関係者	○	×	×
	⑨ へき地医療支援機構専任担当官	○	×	○
	⑩ 都道府県担当者	○	○	○
	⑪ 市町村担当者	×	○	○
	⑫ へき地医療に関連する住民団体等	×	×	○
	⑬ その他()	×	×	×
(71)	へき地保健医療対策に関する協議会を開催した回数	6	1	1
(72)	へき地保健医療対策に関する協議会の内容			
	① へき地医療の課題に関する具体的方策の協議	○	○	○
	② へき地医療に関する事業計画等に対する承認	×	○	×
	③ へき地医療の現状に関する報告と情報共有	○	○	○
	④ 協議会参加者の懇親会	×	×	×
	⑤ その他()	×	×	×
(73)	へき地保健医療対策に関する協議会と第11次へき地保健医療計画	○	○	○

4	5	6	7
×	○	○	○
×	×	×	×
×	○	○	○
×	○	○	○
×	×	×	×
×	×	×	×
×	○	×	×
×	×	×	×
○	○	×	×
○	○	○	○
○	○	×	×
×	×	×	×
×	×		○
0	1	0	0
×	○	○	○
×	○	×	○
×	○	○	×
×	×	×	×
×	×		○
×	○	×	×

副知事、医師派遣調整監、町村会の代表者、(社)地域医療振興協会
○○県支部の代表者

協議会の中で各委員との意見交換の中で話し合いがなされていると考えられるため。

へき地医療を担うための医師確保方策の検討及び派遣に関すること

		1	2	3
6. 地域医療支援センターについて				
(74)	地域医療支援センターの設置状況	①設置している	①設置している	①設置している
(75)	地域医療支援センターを設置している場所	①都道府県	①都道府県	①都道府県
(76)	地域医療支援センターとへき地医療支援機構との関係	②へき地医療支援機構とは別に設置しているが有機的連携が図られている。	①へき地医療支援機構と地域医療支援センターは一体となっている。	②へき地医療支援機構とは別に設置しているが有機的連携が図られている。
(77)	地域医療支援センターが担う役割			
	① 医師確保に関わる総合相談窓口の設置	○	○	×
	② 医師のあっせん・派遣調整	○	○	×
	③ 医師確保対策に関する情報発信	○	○	○
	④ 地域医療に従事する医師の支援	○	○	○
	⑤ 奨学金等により将来地域で就業することを義務付けられている医師のキャリア形成支援	○	○	○
	⑥ 地域における指導医の養成と指導医の適正な配置	○	○	○
	⑦ 地域での研修体制整備	○	○	○
	⑧ 地域医療関係者との意見調整	○	○	○
	⑨ 具体的な役割に関しては検討中		/	○
(78)	最も重点を置いている地域医療支援センターの役割	①医師確保に関わる総合相談窓口の設置	⑤奨学金等により将来地域で就業することを義務付けられている医師のキャリア形成支援	⑤奨学金等により将来地域で就業することを義務付けられている医師のキャリア形成支援

4	5	6	7
①設置している	③設置する計画はない		①設置している
①都道府県			②地元大学
②へき地医療支援機構とは別に設置しているが有機的連携が図られている。			④具体的な関係性については未定である。
○			○
○			○
○			○
○			○
○			○
○			○
○			○
○			○
×			○
④地域医療に従事する医師の支援			⑤奨学金等により将来地域で就業することを義務付けられている医師のキャリア形成支援

	1	2	3
--	---	---	---

7. 住民に対する取組

(79)	住民に対するへき地医療に関する啓発活動			
	① シンポジウム・パネルディスカッション	×	○	
	② 講演会	×	○	
	③ パンフレット	×	×	
	④ グループディスカッション・ワークショップ	×	×	
	⑤ ケーブルテレビ	×	×	
	⑥ ホームページ	○	×	
	⑦ その他()	×	×	
(80)	都道府県による住民団体の立ち上げもしくは支援	×	○	
(81)	都道府県による住民団体の立ち上げもしくは支援の具体的内容	<p>1 研究会の趣旨 地域住民が医療サービスの受け手だけでなくとどまらず、自ら住む地域の医療に関心を持ち、現状、課題、今後の方向性等について主体的に話し合い、認識、理解を深めることが地域医療を確保する上で重要であるとの観点から、〇〇県では「地域医療研究会」の発足・活動を支援してきた。</p> <p>2 研究会の活動状況 平成18年度に、〇〇、〇〇(〇〇地域)、〇〇・〇〇地域、〇〇地域(〇〇半島北部地域)の4圏域に「地域医療研究会」が発足し活動を開始した。</p> <p>3 支援の内容 県は、平成18年度に限り、地域医療研究会の活動に係る経費(会場借上料等)を予算の範囲内で支援し、平成19年度以降は、活動に必要な情報提供等側面的支援を行っている。</p> <p>4 今現在の状況 平成18年度に発足した4圏域の地域医療研究会であるが、「〇〇地域医療研究会」と「〇〇地域地域医療研究会」の2地域医療研究会については、現在も活動している。</p> <p>5 期待される効果 ①研究会メンバーからの情報発信、地域医療に理解ある市民の拡大、②医師をサポートする気運の高まり、医師のモチベーションの増大、③深刻化する医療問題に関する市民と市町村との対話、相互提案の拡大</p>		

[参考]
地域医療を支える推進事業として、全県的な各種の普及啓発活動や住民団体への支援などに取り組んでいるが、必ずしもへき地医療だけに特化しているものではない。

4	5	6	7
x	x	x	o
o	x	x	o
o	x	o	x
x	x	x	x
x	x	x	x
x	o	x	o
x	x		x
x	x	x	x
-			/

		8	9	10
1. へき地医療支援機構・へき地医療拠点病院・へき地診療所の実態				
■へき地医療支援機構について				
(1)	へき地医療支援機構の設置状況	○	○	○
(2)	へき地医療支援機構の設置機関	②へき地医療拠点病院	①都道府県	①都道府県
(3)	専任担当官のへき地での診療経験の有無	○	○	○
(4)	専任担当官の勤続年数	1	9	9
(5)	専任担当官のへき地関連業務従事日数	①0～1日	⑤4～5日	①0～1日
(6)	専任担当官の業務別専従時間			
	ア	①0～1日	①0～1日	①0～1日
	イ	①0～1日	①0～1日	①0～1日
	ウ	④3～4日	③2～3日	④3～4日
	エ	①0～1日		①0～1日
(7)	専任担当官の現地視察回数	0	2	随時
(8)	専任担当官の首長等との意見交換回数	0	0	随時
(9)	専任担当官がへき地医療関連業務に専念するための工夫の有無	×	×	×
(10)	専任担当官がへき地医療関連業務に専念するための工夫の内容			
■へき地医療拠点病院について (へき地医療拠点病院の実績)				
(11)	巡回診療の実施回数			
	〃 延べ日数			
	〃 延べ受診患者数			
(12)	医師派遣実施回数			
	〃 延べ派遣日数			
(13)	代診医派遣実施回数			
	〃 延べ派遣日数			
	(へき地医療拠点病院の看護師数)			
(14)	常勤の看護師の定数			
(15)	常勤として勤務している看護師数			
■へき地診療所病院、へき地診療所についての集計は別紙				
■へき地診療所について (へき地診療所の現状)				
(16)	へき地診療所の正式な施設名称			
(17)	〃 所在地			
(18)	〃 全病床数(有床診療所のみ)			
(19)	〃 全医師数(非常勤医師は除く)			
(20)	〃 常勤の看護師の定数			
(21)	〃 常勤として勤務している看護師数			
(22)	〃 非常勤として勤務している看護師数			

13	15	16	17
○	○	○	○
①都道府県	①都道府県	①都道府県	①都道府県
○	○	×	×
6	9	2	4
④3～4日	①0～1日	②1～2日	④3～4日
①0～1日	①0～1日	①0～1日	①0～1日
④3～4日	①0～1日	②1～2日	④3～4日
②1～2日	①0～1日	①0～1日	①0～1日
①0～1日	①0～1日	①0～1日	①0～1日
0	5	0	24
4	0	0	1
○	×	×	×
専任担当官としての業務を兼務発令			特になし

■へき地診療所病院、へき地診療所についての集計は別紙

	8	9	10
--	---	---	----

2. 第11次へき地保健医療計画の進捗状況

■ドクタープール

(23)	ドクタープールのシステム作り	○	×	×
(24)	ドクタープールの新規登録者	無し		
(25)	ドクタープールの登録者	無し		
(26)	へき地医療に関わっている医師	無し		

■へき地医療への動機づけ

(27)	へき地医療に関連した寄附講座	○	×	○
(28)	中学生・高校生を対象とした啓発活動	3	0	1
(29)	中学生・高校生を対象とした啓発活動の具体的内容	高校生を対象とした病院見学会を開催し、本県の地域医療への理解と促進を図っている。(へき地医療のように特定した啓発には至っていない)		中学生・高校生のみを対象としてはいないが、平成23年度へき地医療従事者研修会において、一般県民も参加対象として、地域医療の映画を上映。
(30)	大学におけるへき地保健医療に関する医学教育	○	○	×
(31)	大学においてへき地保健医療に関する教育が行われている学年			
	① 第1学年	○	○	
	② 第2学年	×	○	
	③ 第3学年	×	○	
	④ 第4学年	×	○	
	⑤ 第5学年	○	○	
	⑥ 第6学年	×	○	
(32)	へき地医療の現場を経験できるカリキュラム	○	○	×
(33)	へき地医療の現場を経験できるカリキュラムのある学年			
	① 第1学年	○	○	
	② 第2学年	×	×	
	③ 第3学年	×	×	
	④ 第4学年	×	○	
	⑤ 第5学年	○	○	
	⑥ 第6学年	×	×	
(34)	自治医科大学学生とのコミュニケーション	○	○	○
(35)	地域枠学生・奨学生とのコミュニケーション	○	○	×
(36)	自治医科大学学生と地域枠学生・奨学生とのコミュニケーション	○	○	×

13	15	16	17
x	x	x	x
x	○	○	○
0	9	2	1
	医学部入学者の多い県内高校への訪問説明、高校生セミナーの開催(講演及び教員・学生と意見交換)	○○大学に設置した寄附講座の担当教授が、高等学校を訪問し、医師の仕事等について講演する。	医学部進学セミナー
x	○	x	○
	x		○
	○		x
	x		x
	○		x
	○		x
	○		x
x	○	x	x
	x		
	x		
	x		
	○		
	○		
	○		
○	○	○	○
○	○	○	○
x	○	x	x

		8	9	10
■へき地医療従事者に対する研修計画・プログラムの作成				
(37)	へき地医療を担う総合医の育成を目的とした後期臨床研修プログラムの作成	○	×	○
(38)	へき地医療を担う総合医の育成を目的とした後期臨床研修プログラムの具体的内容	○○大学においては、総合医コースとして、家庭医療プログラム、病院総合医プログラムを設定している。○○協同病院においては、広範な診療科を学ぶ総合医プログラムを設定している。		5年研修の場合、2年間は日本内科学会教育病院で、1年間は日本内科学会教育関連病院で内科研修を行い、2年間は地域で総合研修を行う。ただ、専門医が取得できるとその時点でコースは終了。
(39)	へき地医療を担う総合医の育成を目的とした後期臨床研修プログラムの運用状況	詳細は大学に要確認		1
■へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン				
(40)	へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン	○	×	×
(41)	へき地医療に従事する医師のキャリアデザインの具体的内容	H24地域医療支援センターを設置し、医師不足地域で医療に従事する医師のためのキャリアパスを作成予定。		×
(42)	へき地医療に従事する医師のキャリアデザインの運用状況	今後運用予定		×